

しちなし

社会福祉法人くちなし
セルブ・ガーデンハウス
 障害者支援施設
 障害福祉サービス事業所
 〒267-0057 千葉市緑区大木戸町1423-3
 TEL 043-295-7401(代)
 FAX 043-295-7406
 発行人 小林 正継
 編集 広報委員会

「感謝の気持ちを忘れずに 気づく心・感じる心を大切に…」

新しい形での個別旅行

今年度よりセルブ・ガーデンハウスではこれまで毎年秋に行われていた日帰り旅行の見直しをして個別希望旅行を実施しています。職員と利用者さんのマンツーマンで行っており、予め担当職員が担当利用者にヒヤリングして普段行けない場所であったり、職員がいらないと出来ないことであったり、普段食べることが出来ない物など、それぞれ個人に合わせた旅行を計画して実施しています。

今までの日帰り旅行ではなかなか行けなかった場所だったり、自分の本当に食べたい食べ物、遊びなど自分に合った旅行を1から計画出来るのは利用者さんにとっても職員にとっても大変ワクワクすることだと思いました。今年度はまだ未実施の個別旅行もありますが、来年度以降も今年を糧にして利用者さんの更なる楽しさやワクワクを追求できるものにしていきたいと思えます。



左記は一部になりますが、利用者さんが今年に行った個別旅行の抜粋になります。

- ◎ U. Jさん M. Yさん.. 念願の巨人vsヤクルト戦 in東京ドーム!
- ◎ Y. Sさん.. アイドルカフェで熱狂!
- ◎ E. Kさん.. 館山ドライブ

- ◎ S. Tさん.. パチンコでフイーバー!
- ◎ T. Nさん.. Tジョイ蘇我で映画! アリオでぬいぐるみGET!
- ◎ K. Hさん・S. Tさん・S. Mさん.. 鴨川シーワールド、いっぱいお魚観れました!

で観光!
 ◎ K. Rさん.. 一条寛太さん キャンペーンコンサート!



念願の野球観戦!!



アイドルカフェ最高!!



お魚の数の多さにびっくり!!



ぬいぐるみGET!!

そば打ち見学会

コロナ禍以降、なかなか外食を行う機会が少なかった為、給食委託会社と協力し9月11日に「そば打ち見学会」が行われました。

利用者の皆さんの前で粉から蕎麦が打ちあがる過程を披露して頂きました。利用者さん皆が見やすいように、テレビ画面に職人さんの手元を映し出すと、利用者の皆さんも興味津々で見えました。

出来あがった蕎麦玉を実際に手に取って触らせてもらったり、蕎麦玉がうすく伸ばされリズミカルに蕎麦切りされ自分たちの



魅せる蕎麦職人技!



打ち立て蕎麦の感触は?

知っている蕎麦に変わっていきの様子を見て、驚きの声がたくさん上がりました。



お昼ご飯には蕎麦が提供され、食べる際には、「さつき作っていた蕎麦だよね、美味しい」「とても楽しかったので、また何かイベントを実施して欲しい」という言葉が聞かれ、利用者の皆さんに楽しんでいただけて、とても良いイベントとなりました。

「とても楽しかったので、また何かイベントを実施して欲しい」という言葉が聞かれ、利用者の皆さんに楽しんでいただけて、とても良いイベントとなりました。

祭 みんなの笑顔あふれる夏祭り 祭

恒例の夏祭りは8月3日(土)『音楽と花火』をテーマとして会場中、装飾いっぱいの中、開催されました。プログラムは、ゲーム(うちわで金魚わたしりレレ)、いま何が通ったでしょうか?、音楽クラブ、手話サークルによるパフォーマンス、職員のパフォーマンスの他、クラフトクラブの作品展もありません。

ゲームでは利用者さん、職員が4つのグループに分かれ、大いに盛り上がりながら楽しみました。

音楽クラブ、手話サークルのパフォーマンスはいつもの練習の成果を存分に発揮できた素晴らしい発表になりました。

職員のパフォーマンスではいつもと違う職員の姿、様子を利用者さんたちは楽しみにしていたようでした。そして今回もご参加ご協力いただきましたファミリー会の皆様、いつもありがとうございます。



事務職員だけにジムアルフィー!?



うちわで楽しくゲーム

クラフトクラブの 素敵な作品発表☆



セルプでは手話サークル、音楽クラブ、インドアゲームクラブ、クラフトクラブがありそれぞれ毎月の活動を楽しくしています。夏祭りやクリスマス会では音楽クラブと手話サークルは発表があり、手話サークルは外部での発表の場もあります。クラフトクラブの活動では小物入れやカレンダー、

ステンドグラス風アート等個人の作品を作り、自分の部屋で使ったり飾ったりなどして楽しんでいますが、クラブメンバー以外への発表の場はありませんでした。そこで今年度から、行事の際に発表の場を設け、夏祭りではクラブのメンバーみんなで一つの作品を作り展示しました。みんなが大好きなセルプのダックキーやなごみちゃん達が仲良く花火を見ているところを表現しました。

そして、クリスマスではそれぞれが思いの思いのスノードームを作り展示しました。「みんなに見てもらえてよかったです。」『すごいね。上手だね。』と声をかけてもらえたり嬉しい。と照れながらも誇らしいような、そんな表情が見られました。

手話で広がるみんなの輪

れました。

今日の日のために手話サークルは何度も練習に励み、手話ダンスを4曲披露しました。手話サークルのメンバーからは「緊張したけれど、楽しかった」という感想がありました。旧友との再会に喜ぶ

10月19日(出) 20日(出)に土気駅前バースモールでふれあい福祉フェスティバルが行われ、手話サークル「FLD」が出演しました。ふれあい福祉フェスティバルはセルプ・ガーデンハウスが実行委員会事務局となっており、土気地域の14の福祉団体有志が集まり、手作り作品などの販売、歌や太鼓などの演奏が行われ、



ガーデンフェスタ出演

メンバーもいて、とても心温まる時間となりました。11月9日(出)にお隣のガーデンセブンさんでガーデンフェスタが行われ、手話サークルが出演しました。天気が良く、3曲を発表しましたが、とても楽しく発表をしており、お客様からも沢山の拍手をいただきました。お隣ということもあり、今後交流を続けてできたらと思います。

これからも様々な場所で手話ダンスの発表をすることで、少しでも多くの人に元気を届けていきたいです。

セレクト食

月1回、メインのおかずやデザートを二者択一で選べる『セレクト食』について、利用者さんに感想を聴いてみました。『好き嫌いがあるので助かる。写真を見て、どちらにするか選べるので分かりやすい。気軽に自分で決められるのが嬉しい』など総じて好評です。

また、アジフライ定食×チーズメンチ定食、ツナサンド×たまごサンド、シューアイスのバニラ味×いちご味など、どちらにするか迷った『どっちも食べたかった』など嬉しい悩みにもなっているようです。

どちらか選べることで、「自分の好きな物が食べられる」という期待から、「大好きなアップルパイが選べると嬉しい」など、目を輝かせて語ってくれる利用者さんいました。こうした様々な声から、『セレクト食』が利用者さんにとって、大きな楽しみになっていることが分かりました。



ケーキセレクト

楽しいクリスマス会



サンタのプレゼント



盛り上がったカラオケ大会



ネイル・手作り指輪でプチおしゃれ!



12月16日(月)に今年度のクリスマス会を行いました。今回、希望した方はネイル・メイク・フェイスペイントなどのおしやれをしています。完成するとみなさん笑顔で周囲の人と見せ合っていました。会が始まる前には、フアミリーさんが製作してくれた蝶ネクタイやリボン、職員が作ったイヤリングや指輪を付け、衣装や帽子も身に纏ってクリスマス気分を味わっていました。

今年度は、音楽クラブや手話サークルがこの日のために練習してきたクリスマスにぴったりの曲を披露してくれました。そのあとはカラオケ大会を行っていただきます。ソロで歌ったり、職員とダンスをしながら歌ったりと、皆さんが前から一生懸命に練習をしていたため会場から拍手や拍手が聞こえてきてどちらも大盛況で終わることができました。

プレゼント交換ではサンタの格好をした小林施設長、渡辺施設長、フアミリーさんが大きな袋を持ってプレゼントを配ってくれました。プレゼントの包みを曲に合わせて回していき、みなさんに様々な柄のくつ下がプレゼントされています。今年は当たり付きのプレゼントもあり、10人の利用者さんにクオカードが贈呈されました。



音楽クラブによる楽しい演奏

豪華なメニューが並んでいて皆さんおいしそうに食べていました。次の日にも利用者さんから「楽しかったです」

「たよー!」とお声をいただき、コロナ禍とは違い感染対策をしながらでもみなさん一丸となって楽しめた会になったと思います。



セルフ5人目の古希(70歳)祝い



ご本人より、「誕生日プレゼントをもらったのは30年ぶりでも久しぶりでした。似顔絵のプレゼントはなかなかもらえるものではないし、とても嬉しかったです。この施設でがんばります。」と喜んでいただけたので、こちらも嬉しい気持ちになりました。本当におめでとうございます。

セルプの利用者さんの平均年齢は入所男性56.7歳。女性54.9歳。通所男性43.1歳。女性43.1歳となっています。49歳以下が20人、50歳〜64歳は24名、65歳以上は6名、日々体や気持ちの変化を感じながらもリハビリや外出をして楽しみを見つれたり、利用者さん同士や職員とお話をして元気に過ごしています。そんな中、令和6年11月セルプでは5人目となる古希を迎えた利用者さんのお祝いをしました。施設からは古希のお祝い恒例となっている、素敵な笑顔の似顔絵をプレゼントしました。

セルプの利用者さんの平均年齢は入所男性56.7歳。女性54.9歳。通所男性43.1歳。女性43.1歳となっています。49歳以下が20人、50歳〜64歳は24名、65歳以上は6名、日々体や気持ちの変化を感じながらもリハビリや外出をして楽しみを見つれたり、利用者さん同士や職員とお話をして元気に過ごしています。そんな中、令和6年11月セルプでは5人目となる古希を迎えた利用者さんのお祝いをしました。施設からは古希のお祝い恒例となっている、素敵な笑顔の似顔絵をプレゼントしました。



ボッチャ体験



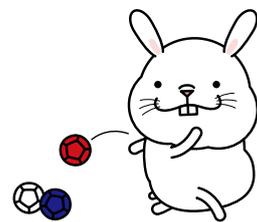
福祉車両展示

また、福祉車両の展示では実際に福祉車両を検討しているご家族の方がセルフの車両に乗ってみてどのよう動くかを体験して頂き購入にむけて良いきっかけになればと思います。セルフでは今後も継続して福祉啓発を行います。

また、福祉車両の展示では実際に福祉車両を検討しているご家族の方がセルフの車両に乗ってみてどのよう動くかを体験して頂き購入にむけて良いきっかけになればと思います。セルフでは今後も継続して福祉啓発を行います。

11月3日(日)昭和の森公園にて「緑区ふるさとまつり」が開催されました。今年で32回目を迎えたふるさとまつりでは、子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさんでした。快晴の中、多くの方が来場され、会場内には、緑区内各種団体による模擬店や区民によるフリーマーケット、行政機関等によるPRなどが催されており、当日は2万5千人余りが来場されたそうです。各ブースとも大変賑わっておりまして、セルフ・ガーデンハウスは今年もポッチャ体験と福祉車両の展示を行いました。

た。セルフのブースでは延べ250人を超える方が参加をされ、ポッチャ体験では、小さなお子さんから年配の方まで幅広い年齢の方々が体験をしていただき、ポッチャがどういった競技かを実際にボールを投げてもらい、ポッチャの面白さを感じて頂けたと思います。改めて、障害があってもなくてもポッチャという競技を知ってもらおうことで地域の方々に障害者スポーツの良さを知って頂けたと思います。



緑区ふるさとまつり

福祉啓発活動

ポッチャ講習会



セルプ・ガーデンハウスでは千葉市パラスポーツ振興補助金を活用し、障害のある方がポッチャを通じてスポーツに親しむ習慣や意欲を持つたり、ポッチャを起点としたスポーツ活動による社会的な参加を目的とした取り組みを行っています。今年度も市原ポッチャクラブより門脇氏を招いて講習会を実施しています。

▼11月21日(水)入所希望者5名
入所チームはチーム戦での対戦



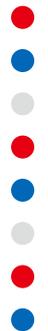
方式で一球一球投球後にわかりやすく説明を受けながら進めていただき、利用者の皆さんも笑顔も見受けられました。真剣に取り組み、特に、スピゲンがかかりやすい投げ方や相手ボールのはじき方を中心に学んだと話していました。目標に大会で優勝したいと話している方も何名かおり、次のポッチャ大会は皆さんの目標達成を祈りたいと思います。

▼11月27日(水)通所利用者14名
通所チームは以前から参加して

いる方が多く、実践形式での講習会になりました。戦略や投げ方など真剣な表情で講習を聞き、1人が積極的に参加していました。双方が投げ終わった後(エンドフィニッシュ)は講師の方の説明に興味深そうに聞いていました。

講習を受けルールの学び、体験を重ねたことで、ポッチャの楽しさや身体を動かすことの喜びを感じてもらえたようです。

県身協ポッチャ大会



10月16日(水)、千葉市ハーモニープラザにて、第1回県身協ポッチャ大会が開催されました。セルプ・ガーデンハウスからは、利用者3名が参加しました。

本大会は、勝敗を競うことよりも、レクリエーションの要素を取り入れるなど、初心者の方や投げる、転がすなどの動作が難しい方でも、ポッチャを楽しむことに主眼を置いたものでした。

そのため参加前には、十分な練習が積み重なったことで、不安もありましたが、和やかなムードの下で競技を楽しみながら、多くの参加者や大会

関係者との間で交流を深めることが出来ました。

また参加したいとの利用者さんの感想の通り、次につながる大会となりました。



職業交流授業

コロナ禍では中学校でも職場体験実習や外部を招いての交流授業が出来ずにいたそうですが、昨年度から徐々に通常の生活に戻り、セルフ・ガーデンハウスでも10〜11月にかけて近隣の中学校の職業交流授業に参加しました。今年是有吉中学校、末広中学校、川戸中学校、おゆみ野南中学校で、職員の私たちが支援をする中で日々心掛けていることや、利用者の皆さんからいただく元気や気づき、やりがいをお話させていただきました。



また、車椅子に実際に乗って段差やスロープを体験してもらうことで、社

会にはまだまだ障害を持つ方には過しにくい部分がたくさんあることを知ってもらいました。不便さを体験したことで、ちょっとした親切が相手にとつてとても助けになることに気づいてもらえたと思います。これからの社会に、この温かい輪が広がり、利用者の皆さんが自分でやりたい事、好きな事を選択したり挑戦できる暮らしやすい未来に向かっていけたら良いと思いました。

*中学生の手紙から一部抜粋

「いつもはちよつとした段差も気にならないけど、車椅子だと、そのちよつとの段差が大変だとわかりました。この職業講話で学んだことを活かしていきたいです。」

川戸中学校 S・Hさん

「みんなが変わって誰でも自由に過ごせる障害のない社会を作らなきゃと感じた。車椅子の人、困っている人がいたら一歩踏み出して声をかけられるようになりたい。」

おゆみ野南中学校 R・Kさん



実際に乗っての車椅子体験

いざという時に備えて

12月13日(金)に障害者週間記念講演が行われました。昨年1月1日の能登半島地震の甚大な被害により、未だに復興が出来ずに避難所生活をしている人もいます。そのような中、もし同じような地震が来たらどうなるかということやイメージしてもらうために千葉県健康福祉指導課と千葉市障害者自立支援課の職員に来ていただき、D W A T(ディーワット「災害福祉支援チーム」の略)の活動と福祉的支援が必要な人の災害時の避難所について説明していただきました。

D W A Tの主な活動については、先遣チームと支援チームに分かれており先遣チームは支援チーム派遣のため避難所にまず派遣され、状況確認や情報収集を行います。支援チームは避難所で要配慮者に対し、D W A Tのメインとなる福祉支援を行います。

セルフ・ガーデンハウスが福祉的避難所になった場合は、千葉市より受け入れができるかどうかの確認があり可能な人数を施設で受け入れます。受け入れをし



皆さん熱心に聞いています

実際の食事などは市から支援されます。利用者さんには自分たちだけの生活ではなく避難してきた人との共同生活になることを話しています。職員も知らない内容が多く、大変勉強になるお話でした。大きな地震はいつどこで起こるか分かりません。他人事ではなく日頃から備えを十分にして、いざという時に万全に対応できるように心がけていきたいです。

災害に備えて

BCPによる新たな取り組み

皆さんは「事業継続計画」
[Business Continuity Plan]
「BCP訓練」という言葉を
耳にしたことがあるでしょ
うか？

近年地震や洪水などの自
然災害や、新型コロナウイルス
等の大流行な
ど、大きな災害のニュース
を多く耳にします。

福祉施設ではこれらの緊急時
でも、福祉サービスを継続して
いくことが求められています。
その為、事業継続計画(BCP)
とは通常の防



想定訓練実施中



非常用自家発電機電源確認

災訓練で行う避難重視のもの
ではなく、いかにして福祉サ
ービスを途切れさせず、利
用者さんの生活を守ってい
くか、に重点を置いて考え
られた計画です。

セルプ・ガーデンハウスでも
「自然災害」と「感染症」に
分けて事業継続計画(BCP)
を策定し、今年度からBCP
訓練を実施しています。緊
急事態が発生した場合の初
動、次にどのように施設を
機能させていくかを確認し
ます。昨年度設置した非常
用自家発電機の動かし方や
使用可能な範囲、排泄など
の衛生管理、食事の対応方
法、物資の備蓄や保管場所
など色々な検討を重ねてい
ます。

すべての災害を防ぐことは
できませんが、出来る限り
の備えをして、利用者さん
もご家族も安心して穏やか
に生活していただけたら
と思います。

新職員紹介

【生活支援員】



村田 圭一郎

●好きな言葉
明鏡止水

●抱負
早く皆さんに安心して頼
られる様になりたいです。

早く皆さんに安心して頼
られる様になりたいです。



中嶋 一樹

●好きな言葉
誠実

●抱負
一生懸命頑張ります。

【看護師】



若林 花奈

●好きな言葉
終わり良ければ総て良し

●抱負
利用者さんが安心して健
康に過ごせるようにして
いきたいです。

寄付金

(令和6年1月1日)
令和6年12月31日)

敬称略

和泉隆子、中塚恵、渋谷教育学園幕張高等学校吹奏楽部、中山栄一郎、小林ハル子、野口富二夫、岩山律子、井下田誠、志水満吉、古川俊朗、木村昇、菊地正義、千葉アロ1(株)、社会保険労務士法人みどり事務所 荏司芳樹、豊永鉄己、(株)ティ・エンドレス 村山孝継、浅野千栄子、山内京子、野田正治、野田直人、(株)タケエイ、片岡晃毅、沼田幸子、(株)建築設計ノヴァ野口正寛、野口(株)、長谷川喬也、仲村恵子、市村寿子、嶺島直高、(有)シライクリーンサービス、島貫孝子、(株)LEOC田島利行、(株)関東消防機材、風間信宏、青柳義喜、五十嵐啓介、大沼真由美、西内恭子、セルプ・ガーデンハウスファミリア



生活介護(通所)の利用者さん募集!

★ 仲間と一緒に活動しませんか? ★

★ ぜひ一度見学に来てください! ★